

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成30年11月11日（日） 10時～12時
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 27名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長
古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職13名

■懇談要旨

市 民：私は9月20日に転入してきて、南近隣センターを利用した際に暖房しか入らず、大汗をかいた。なぜ、あのような新しい施設で切り替えが出来ないのか。本庁舎ですが、他市のように高層階の建物に出来ないのか。また、日本は施設を利用する際、靴を脱ぐ習慣がありますが、以前、私はスリッパをはいたことにより、水虫をうつされたので、スリッパは、ちょっと抵抗があり、もしかしたら、今後、外国のように靴のまま利用されるというようになるかもしれません。

市 長：我孫子南近隣センターの事だと思います。その施設は、けやきプラザといいまして、県の施設であり、県と市との合築であります。8階以上が市の所有となっており、1階から7階が県の所有であります。管理全体の施設管理は、県が指定した指定管理者でありますので、ご指摘の部分につきましては確認をし、指定管理者に伝えます。市役所の建て替えについては、保育園や小中学校の子どもたちの命を守るため、何よりも先に耐震工事を終わらせ、市役所も最低限の耐震工事を行いました。そのよう中で、多くの市民の方々から市役所の建て替えや市民会館の建設が先などのご意見をいただきました。仮に市役所を建て替えることになると、業務の移転や移転先の確保、防災機能を含め市民の皆様が利用しやすい場所など、様々な問題が出てきます。そういった事も踏まえながら、にぎわいづくりの場所となる文化交流拠点と含めて本日、ご意見を頂戴出来ればと思います。スリッパについては、土足を開放する施設も全国にはあるような話ですが、我孫子市ではまだそのような事は、考えておりませんが、ご意見として頂戴したいと思います。

市 民：私は、井戸と水道を利用して、庭の水まき程度に井戸を使用しているの
であり、調べてみると2人で毎月6 m³利用している計算となっているが、そんなに
使用していないと思うので、確認してほしい。

建設部長：水道料金は、メーターで使用量を確認して、お金を支払っていただい
ております。あくまでも、使用した上水道を流すために下水道を使用しています。再度、
調査させていただければと思います。

市 長：本日、担当課職員が出席しておりますので、後ほど、担当課にお話しくださ
い。調査して担当課から回答するようにいたします。

市 民：所得税と地方税が変わった事を市の職員がよく理解しないで、間違った扱い
をいたしました。市にお話をしたところ、税額を訂正してくれた。しかし、変更後
に担当課からの謝罪の連絡はなかった。付随して、私の税金が普通徴収になったの
ですが、私の承諾なしに銀行からお金が引き落とされていた。

今年の台風は大型なものが多く上陸した。学校には大きな立木が多く、台風の影響
を受けやすい。公共施設にある立木の剪定や伐採を検討していただきたい。高さ
によっては伐採も必要ではないか。

企画財政部長：先ほどの件でお詫びがなかったことにつきましては、大変申し訳ござ
いませんでした。今後気を付けてまいります。

年金の口座引き落としにつきましては、おそらく一度口座引き落としの手続きを
されていると思われますので、それについては市民税だと思いますが、市として、
それぞれの税について区分がされていなかったことが原因と思われますので、収税
課に話をしまして、市民の皆様からの問い合わせが無くなるように、今後の対応を
考えてまいります。廃止の手続きがされていないとデータが残ってしまい、このよ
うな障害が出る場合がありますが、逆に一度登録しておけば何度も手続きをしなく
て済むという意見もございますので、そういったことも含めて検討してまいります。

大変申し訳ございませんでした。

市長：今回の台風では市内で約100本の木が倒れております。近隣センターこもればでは、大きな樹木が傾いたりしました。市内で傾いたものや危険な状態などところについては、伐採しております。職員が見廻りをしながら、心配な状態の樹木については、樹木医と相談して、事前に剪定等を行ってまいりますので、切るのほもったいないという意見もたまにあります。樹木医と相談して伐採をします。その際は、ご理解をお願いいたします。ただ、学校内の樹木になりますと記念樹であったりするものですから、教育委員会と学校関係、PTAとも相談しながら対応したいと考えております。

市民：樹木の伐採をした後は、若木を入植してほしい。湖北台中央公園も柳のなみきでありましたが、今は少なくなってきました。また、湖北台図書館の工事が長くなるようであれば、中間的な処置をお願いしたいと思います。利用者としては高額な本も借りることが出来て助かりますが、足腰を痛めた時には階段を上るのは大変ですので、そういったところも対応をお願いしたいと思います。

市長：公園や学校などで、樹木を伐採するとその後の入植については、木の種類によって、植えられる時期もありますので、時期にあった樹木を選定して入植していきたいと思います。市としましては、管理費等も含めて大木ではなく、中低木の方が管理しやすいと思っております。木の種類も含めて検討してまいります。湖北台図書館については、これまで5年に渡り皆様からの意見を頂戴した中で、すぐには移転しないことになりましたけれども、西小学校に空いている場所がありますので、一階を図書館としてのスペースにももらえないかと教育委員会と話をしているところです。ただ、学校側としては、不特定多数の方が学校に来られることを嫌がりますが、場所としては今のちょうど反対側になりますので、一階のスペースが確保できればよいのではと思っております。まだまだ結論はできませんが、もうしばらくお待ちになってください。

なお、湖北台の図書館のエスカレーターやエレベーターについては、設置するようになりますと建て直す必要がでてきますので、他の場所を考えていきたいと思っております。

市 民：他の団体から市民会館を造ってほしいと要望がありますが、クリーンセンター建設や消防署の移転など、様々な施設を建設していく中で、文化交流拠点施設を建設すると50億をかけて毎年3億円を支払っていくということですので、お金が相当かかる訳です。私は個人的には高齢者の為に老人ホームを造っていただきたいのですが、若い方は市民文化会館を求めていると思いますが、市の庁舎も立て直すようになるでしょう。そういった中で、本当にこの計算で我孫子市は財政的に大丈夫なのでしょうか。

市 長：市長に就任した際には、本当にお金がない状態で、職員の給料カットや採用人数を減らすなどしてきました。300億円しか組めない当市が390億円程の予算が組めるようになってきた事は、国や県へ行き、補助金を確保してきたことによるものです。震災や治水工事等も国や県からの補助金を活用しております。ただし、市民会館につきましては、国からの補助などの財源がございません。よって、本当に必要であると皆様に問いかけているものでありますので、今はそのような状況であるということをご理解いただきたいと思います。特別養護老人ホームにつきましては、ここ12年間で、百床の特別老人ホームを三つ造りました。今期の介護保険計画の中では、ニーズ調査の結果では在宅に戻れるような声があったものですから、特養ではなく、老健を選択させていただいて、我孫子地区にて手を挙げてきた業者と協議を進めているところです。2年半後には新たな介護保険計画を作らなければなりませんので、またニーズ調査を行って参りたいと思っております。介護認定方式では当時は、我孫子方式と言われておりましたが、今は全国がこの方式となっております。今後も皆様のニーズ等を把握し、進めて参りたいと思っております。

市 民：取手市から引っ越してきた、私の兄が我孫子市は税金が高いと言っております。我孫子市は取手市のように大企業が多くない事からだと思います。企業誘致に関しては、市としてどのように行っているのかお聞きしたいと思います。

市 長：東葛地区は、全て同じです。我孫子市が特別高いということではないことをご理解ください。引っ越しされ前の場所が、町や村であった場合は、税率は低いので

で、高くなります。

また、市税は国税よりも1年ずれますので、感覚的には急に高くなったと感じると思います。国税を取めた後に市税の請求がきて高く感じてしまうということが多くあるということです。

その中で、我孫子は歳入を増やすのには企業誘致が必要で、雇用を確保していきたいと思っております。例えば、柏市では、アリオが建設されたことにより、固定資産税が16億円増え、そこで、働く人の雇用により税収も増えたようです。東京に行くなど、通勤に長い時間をかける必要が無くなり、自宅に近い場所で仕事ができるというふうになります。若松のカスミでも100人近く雇用された事により所得税収入も増えました。私も我孫子市民を優先して雇用してくださいとお願いいたしました。こういったことから、企業誘致は、所得税、固定資産税が増えるというメリットがあります。

ただ残念な事に大企業は、本社が納税しますので、NECであれば、東京に本社がありますので、東京にほとんど納税されてしまいます。ただし、我孫子市には固定資産税では多くの税金を入れてくださっています。

そういったことから、企業を誘致しても本社でないと税収を増やすということは、なかなか厳しいという状況です。いくつかの企業では、我孫子市に支社があったところを本社にしてくださった企業もごございます。我孫子市に税金を納めてもらえるよう、働きがけを進めています。また、住工混在の部分も進めていまして、元々我孫子に工場があったのに、周りの開発で住宅が建ち、工場騒音や臭いなどの苦情から操業出来ずに引っ越したいとなります。だからこそ工業用地を確保して働いてもらうことで雇用継続も行われ、税金も入ってくる。そういう部分については、継続していきたいと思っております。

市 民：湖北台中央公園から湖北台中学校側にかけて、枝木が伸びて交通表示が見えない事につきましては、剪定をしていただき、ありがとうございました。続けてお願いしたいのですが、ある民家のキンモクセイが伸びて、標識やミラーがみえにくいので剪定指導をお願いしたいと思います。また、交番前のケーキ屋の横のケヤキの根が太くなり、足をひっかけやすい状況になっていますので、善処してほしいと思います。

建設部長：本日、担当の職員が来ておりますので、後ほど、詳細な箇所を教えてくださいまして、後日、道路課の職員が指導にお伺いさせていただくようにいたします。

市 民：東海第2原発についてですが、先日、原子力規制委員会で40年ルールをさらに20年延長することになったようです。那珂市長も反対し、また水戸議会でも反対、我孫子市議会でも反対しました。これについて、市長の見解をお聞きしたい。

また、図書館分館の建設をお願いしたい。東消防署湖北分署のことですが、今年度中に事業認定されるということと都市計画道路の用地取得と合わせて消防署の用地も取得されるという計画になっています。消防署の移転について、進捗状況をご説明いただきたいと思います。

消防本部総務課長：進捗状況ですが、11月に事業認定に伴う申請書を千葉県に提出いたします。事業認定後税務署協議を行い、用地取得の契約に進みますので、今年度中に地権者と契約となる運びです。

交通課長：都市計画道路につきましては、県に事業認可をいただいております。現在、測量しておりますので、間もなく測量図が完成してきます。その測量図で面積を確定しますので、それをもって税務署協議を行うものです。消防署の土地と所有者が同じところもありますので、消防署と一緒に今年度末から買収をはじめまして、本格的には来年度以降、用地買収に入っていくこととなります。

市長：図書館については、先ほど、お話したとおりです。なるべく、あの地域から離れない場所で検討していきたいと思います。だからと言って、湖北台西小学校に図書館を設けるという約束は、現時点では出来ませんので、ご理解いただければと思います。

東海第2原発については、私としては地元ではないので、コメントは控えさせていただきます。私も水戸市長と話をさせていただいて、那珂の市長さんは、反対を表明しています。当然、それは隣町ですから、大きな影響があるからだと思います。

これまでは、東海村と茨城県だけが意見を言う地元として扱われておりましたが、

周辺20kmが地元扱いになった事から、6市が意見を言えるようになりました。

先日の協定は、40年ルールが延長される前でしたので、私も水戸市長さんも、東海原発を運営している会社に対しての不安感から、水戸市長さんもその会社と話をしていく中で、賛成、反対の意思表示をする時期が来るだろうと言っていました。私も水戸市長さんと話をしていく中で、同じ心配をしているなと思いました。

我孫子市は、隣町でないことから個人的な考えは別として、市長としての発言はしない方が良く判断しました。

市 民：去年12月末に水戸市の方から、避難者受入れの協定の申し入れがきたと聞いております。3月、6月、9月議会と広報にも一切そのことは出ませんでした。議員さんに聞いても、そのような話は聞いていないとの事でした。そして10月に突然協定書が結ばれたとの事でした。我孫子市は、6市の中で再稼働反対ということでは唯一の市であるのに、我孫子市は再稼働を前提とした受入れと判断していたと思われる中で、市長としては人道上やむを得ない判断だとおっしゃると思いますが、完全なる避難マニュアルというものが無いと那珂市長も言うておられる中で、なぜ、市長はそのことを議会に報告しなかったのか。そして、なぜ調印をする直前に市民にお知らせしたのか。お答えいただきたいと思います。

市 長：前提が違っておりますので、訂正をさせていただきます。東海原発の再稼働を前提とした協定ではないということです。災害対策基本法の中で県知事を経由して申し入れがあった場合は、特別な事情がない限り、受け入れなければならないと規定されております。それを踏まえながら協定をしているわけですから、東葛6市だけではなくて、他県他市も水戸市と30万人弱の市民が困った場合は、受け入れる方向で協議が進んでおります。既に協定を結んだところもありますし、今、協議をしている市もあります。我孫子市も東日本大震災があった時に協定や計画があろうがなかろうが、多くの人達を受け入れております。福島や宮城の人達が西日本側の親戚を頼る際に、東葛地域に一時的に受け入れてほしいということで受け入れた経緯があります。その際も、当然、福島と協定を結んでおりませんし、計画もございませんでした。しかし、困った人が我孫子にまた東葛にすれば、私としては受け入れることは当然のことであり、当たり前な行為だと思っております。そして、こ

の時には、帰宅困難者の方もたくさんいらっしゃいました。中距離電車がストップして取手方面の方もたくさんおりました。我孫子市では、当然帰宅困難者の方々も避難所に案内し、対応し支えておりました。我孫子から東京に働きに行っているかたも、他市でお世話になりました。こういった部分は我孫子市と協定を結んでいようがいまいが、その沿線の自治体の方が本当にいろんな形で支援をしてくださいました。私はそれと今回の件は、同じことであるというふうに思っております。先日の水戸市長さんとお話しの中でもしましたが、原発が動こうが動かまいが、あそこには使用済みの核燃料があって、万が一の場合は同じ不安は残っているとのことでした。支援してくれているところに相談に行っていると、お話は承りました。東葛6市の認識は、もし、水戸市民が困って来た場合は、それは支えますということです。具体的には、これからもっとつめていく事になりますが、なるべく我孫子市に影響がないようにしたいのですが、災害というのは計画を作ったからといって全て動けるものではありません。それは、7年前に我々はそれを経験しています。そして、作っていた計画書を大幅に修正しなければならなくなりました。そういった経験を踏まえ、臨機応変に動かなければならない、困っている人がいればしっかりと対応することを、これからも我孫子市としては取り組んでいきたいと思っております。

我孫子市民も7年前のように行動してくれると信じております。最後に確認させていただきますが、今回の協定は、東海原発の再稼働前提の協定ではないということをお伝えさせていただきます。

市民：予算のことについてですが、我孫子市債等で22億、支出の方で返済32億とあります。市債だけで10億ぐらい返済されるということで、よろしいのでしょうか。どんどん増えた方がお金を返せるようになるという見方でよいのでしょうか。

企画財政部長：こちらにお示ししましたのは、経常的経費ということで、大きな事業をやらない場合でも、これだけの借り入れが必要というものになっております。

臨時財政対策債については地方交付税ということで本当は国からいただけるものなのですが、国が借金をして各自治体に交付していたのですが、国も財政が厳しいということで、現在は各自治体で借金をするようになりまして、地方交付税とセ

ットになっているということです。その他市債につきましては、地方債というものは、公共施設を建てる場合に使うものもあるのですが、耐用年数に応じて借入期間が決まるということです。ただし、銀行から借り入れる場合には、20年使える場合でも、借りれなかったり、利率が高かったりという部分もございますので、10年で借り入れを行いまして、10年経ったら借り換えを行うという対応をとっていますので、借り換え分で1億2千万円あるということです。7ページの公債費につきましては、今まで借りた地方債の返済分の元利金となりますので、ここについては変わらないのですが、借りる分につきましては、これから政策費ということで市長が先ほど話されたように協議をして決定していきます。例えば、消防署や道路ですとかそういった事業を国から補助金を頂きながら、足りない部分については、地方債という借金を活用することになります。事業が採択されますとどれぐらい借金が必要かとなりますので、記載している金額よりは少し増えると思います。市としては、財政規律という部分でとめどなく借金をすると返済出来なくなりますので、目標としましては、借りる分と返す分を同じ金額以下にするようにしております。ただ、どうしても大きな事業を行う年につきましては、借り入れが多くなる場合もございますので、大きな事業の予定がない年度には借り入れを抑えるという事にしており、数年間で調整するなど、いろんな工夫をしています。必要な借金を行って、利用される方に負担していただきバランスを考えながら、有効に地方債を活用していきたいと考えております。

市 民：手賀沼は昔は水質が綺麗で、魚も取れて食べられたりしていたと聞きます。水質について、現在の状況を教えてください。

市 長：私が小さい頃は、すでに手賀沼は造成されておりました。叔父に聞いた話では、よく貝や魚を取ったりしたということです。それが、ご指摘のとおり27年間ワースト1位という不名誉な時がございました。しかし現在は、トライアスロンが出来るようになってきました。CODについては、今は8ミリ台でワースト1の頃から比べると4分の1に減ってきています。ただ、残念ながらワースト3位にいます。一時は11位までに下がったのですが、今はどこでも水質を綺麗にする競争があって、今年みたいに夏が暑すぎると水質が悪くなる事があります。COD8ミ

リを超えるとワースト5位に入ってしまうので、8ミリをきるようにしなければなりません。皆様の頑張りやご協力をいただかなければならないという状況であることをご報告させていただきます。また、以前のようなアオコの発生や悪臭も無くなっております。

市民：私は、免許返納をしました。代わりに2年間まで割引チケット等がもらえるということで、いただいたのですが、2年後は個人が負担しなければならないとのこと。どうにかありませんでしょうか。

交通課長：免許返納の割引は2年です。免許返納は高齢者の事故を減らそうという事で行われる物ですので、警察の方でこのような制度を作っていただきまして、事故等を減らすことが目的となっておりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

市長：我孫子市が裕福であれば、どうぞタダでバスにお乗りくださいと言えますが、いろんな事業を行っていく中で、この部分を進めていくと何も出来ない状態になってしまいます。昔、東京都でバスの無料化を行った際に、借金まみれの都市になってしまったことを思いだしてほしいと思います。この制度は、高齢者の交通事故を少なくするために後押しするようなものですので、何卒、ご理解くださいますよう、よろしく願いいたします。

市民：若い世代の定住化ということで、我孫子市では我孫子、天王台に人口が集中しているようですが、湖北、新木、布佐が減少してきている。そういった中で、私が住んでいる中里地区では50件程新築が建ちました。10年ぐらいは、農地が転用されて造成され若い人が家建て、定着の兆しがみえてきているので、これからの環境整備が必要と思われまますので、市長さんからその点について、一言いただきたいと思ひます。

市長：私も中里生まれですので、寂しいところですが、現在我孫子市の人口約13万人の内、約5万人が我孫子、約4万人が天王台、湖北台を含めた湖北、新木で約

3万人、布佐が平和台を入れて約1万人です。ざっくりとした数字ですが、成田線沿線の東側の人口が減ってきております。我孫子・天王台に引っ越しされた方の中では、元々は成田線沿線にお住まいであったのですが、東京への通勤の為に引っ越されたということで、人口が減ってきていると言いう状況です。そういった中で市としましては、住宅リフォーム制度や住宅取得の補助金制度等をつくりまして、東側に住んでいただくとしております。この制度は、スタートしてから4年ぐらい経ちまして、少しずつ効果が上がってきております。なるべく、成田線沿線に住んでもらって、成田線の利便性を上げてもらいたいのですが、JRと協議するといつも利用実数を言われまして、成田線沿線の方が定年を迎えるなどで通勤をしなくなったり、湖北高校も特別支援学校になってしまって、印旛高校もなくなってしまったので、通勤通学が減ってしまっています。皆様には成田線を利用して旅行等にも行かれていると思いますが、定期的に利用されている方とたまに利用する方が公平に扱われていないようで、成田線の増発は厳しい状態です。356バイパスの完成に、後1年ちょっと用地買収も後1ヶ所で、残り550mの工事も来年度、この開通に合わせて、今、布佐の南側と新木の南側を通っているバスを湖北台を通過して天王台まで行けるような交渉をさせていただいております。バス便と成田線の併用で交通の利便性を図れないかということで、バス会社と協議を進めております。現在、356をバスが通るとカーブがあったり、信号が多くて次の成田線を待った方が早いです。そういった欠点を補うには手賀沼沿いの道路を通った方が早いですので、いろんなパターンを考えながら進めていきたいと思っています。子供たちの声が聞こえる街というのが、元気な街だと思います。寂しいエリアが所々出てきておりますが、そうならないように住宅施策と合わせて工夫をしてまいります。